



無電柱化されたJR高槻駅北東地区の古曽部天神線

【心地よく暮らせるまち】

住み替え支援などの住宅施策を検討  
 中心市街地の無電柱化工エリアを拡大  
 (高槻町1・6号線の改良)  
 JR高槻駅南人工デッキに屋根を設置

【利便性の高いまち】

上牧地区への市営バス運行に向けて道路を整備  
 新名神高速道路関連道路の整備を促進  
 (萩之庄梶原線、南平台日吉台線、原成合線)  
 幹線道路網の整備(桧尾川左岸1号線を拡幅)  
 歩行者の安全を確保(柱本住宅線、川添206号線、唐崎中央線に歩道を設置)  
 休日などの市営バス子ども無料乗車制度を検討

【将来に良好な環境を引き継げる社会】

北部山間地区で、市設置型の合併処理浄化槽の整備を推進

憩いの空間で快適に暮らせるまち

施政方針大綱では、「住みやすさナンバーワン」を目指し、第5次総合計画の6つの将来都市像に沿って重点施策を示しています。

また、施策を進めるための土台として、「組織の活性化」「機構改革」「行財政改革」「健全財政の維持」「高槻の魅力発信」など、的確な行財政運営に取り組んでいきます。

なお、各囲み内のは新規または、拡充施策、は継続施策です。

子どもの医療費助成 入院・通院とも

6年生まで拡充、所得制限廃止

35人学級を6年生にも導入

ともに支え合う安全・安心のまち

【安全・安心のまちづくり】

高槻島本夜間休日応急診療所の土曜日の診療時間を拡大  
 公共建築物の耐震化の促進(学校園、老人福祉センター、公民館、コミュニティセンターなど)

【誰もが生き生きと暮らせるまちづくり】

頑張る若者の就労を支援(再就職に向けた資格取得支援助成を開始)  
 基金を活用することなどにより介護保険料の増額抑制  
 市営駐車場、公共施設駐車料金の障がい者割引(料金半額)を順次開始  
 成人保健事業の受診率・実施率向上に向けた研究・検討  
 認知症高齢者などの市民後見人を養成  
 緊急通報装置の設置対象高齢者の拡大に向けた検討  
 徘徊高齢者家族支援サービス(GPS貸し出し)の利用料無料化と対象者の拡大  
 難病患者の災害時などの備えを支援(人工呼吸器の外部バッテリーなどを給付)

【地域で支え合うまちづくり】

桃園地区に新たな地域活動拠点施設を整備(実施設計)



非常時に備えた市防災訓練



「歴史のまち 高槻」を代表する「いましろ 大王の杜」

行き交う人々でにぎわう魅力あるまち

【交流人口が増えるまち】

JR高槻駅北東地区の都市開発事業などを支援(平成26年度全事業完了)  
 ・北東地区以西の古曽部天神線(西国街道)の用地買収  
 JR高槻駅のホーム拡幅の具体化に向けた取り組み  
 富田駅周辺のまちづくりの取り組みを支援  
 高槻の魅力を全国に発信する「高槻営業戦略」の展開  
 ・市のマスコットキャラクター「はにたん」を活用  
 ・「歴史のまち 高槻」を全国に発信  
 ・観光情報を全国に発信  
 中心市街地活性化の取り組みを支援

【余暇を楽しめる基盤形成】

安満遺跡芝生公園等整備構想の策定  
 「文化振興ビジョン」の策定に向けた検討  
 市民会館の建て替えに向けた検討  
 (仮称)北地区図書館の整備(平成25年度開館予定)  
 公民館へのエレベーター設置

子育て・教育の環境が整ったまち



授業を受ける小学生

【子どもが健やかに育つまちをつくる】

**北摂ナンバーワン**乳幼児医療費助成を入院・通院とも小学6年生まで拡充、所得制限廃止  
 待機児童の解消  
 ・保育所の定員増(民間保育園・公立認定こども園創設など)  
 ・学童保育室の整備(小学校3校に2室目を設置)  
 病後児保育を実施する保育所1カ所増設  
**府内初**特定不妊治療費助成の所得制限を廃止  
**府内初**不育症治療費の助成を開始  
 任意予防接種(ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防)の公費助成を継続  
 発達障がい児を支援

【魅力ある教育を推進する】

**府内初**小学校1・2年生に加え、全校で6年生の35人学級を導入  
 中学校給食を2校で試行実施(平成26年度からの全校実施を目標)  
 小・中学校にエレベーターを設置(設置=小・中学校各1校、実施設計=小・中学校各1校)